

Unofficial translation

国連貿易開発会議 (UNCTAD)



プレスリリース

(非公式邦訳)

厳禁

本報告書の内容は、2007年10月16日17:00(グリニッジ標準時)以前に、新聞、テレビ、ラジオ、電子メディアの各媒体により引用・要約されてはならない。

(ニューヨーク 13:00、ジュネーブ 19:00、デリー 22:30、東京 10月17日 2:00)

UNCTAD/PRESS/PR/2007/029*

2007年10月16日

2006年の海外直接投資 - 多くの国・地域で拡大

国連貿易開発会議 (UNCTAD) の報告によると、2006年の世界の対内直接投資は、過去最高だった2000年の水準には若干及ばないものの、前年比38%増の1兆3,060億ドルに達した(図1参照)。

『2007年世界投資報告書：多国籍企業、資源産業と開発』¹によれば、2006年の海外直接投資は2000年以来、最も大きく拡大し、先進国、途上国、南東ヨーロッパ及び独立国家共同体(CIS)の移行経済国のそれぞれで拡大した(各地域の傾向については、UNCTAD/PRESS/PR/2007/031～036参照)。

2006年に12兆ドルに達した世界直接投資残高について、同報告書は、海外に780,000の子会社を持つ多国籍企業約78,000社の事業展開が大きく影響した、と分析する。2006年の海外関連会社による売上高、付加価値額、輸出額は、それぞれ前年を18%、16%、12%上回った(表1)。

* お問い合わせ： UNCTAD Press Office, +41 22 917 5828, press@unctad.org, www.unctad.org/press。

¹ 『2007年世界投資報告書：多国籍企業、資源産業と開発 (WIR07) 』 (CD-ROM 付き、販売番号 E.07.II.D.9, ISBN 978-92-1-112718-8) は、US\$75(開発途上国では特別価格の US\$30)で以下販売事務所より入手可能です。同報告が CD-ROM のどちらかを購入、或いは大量部数の見積もりを希望する場合は以下販売事務所にお問い合わせください。ヨーロッパ、アフリカ、西アジア：United Nations Publication/Sales Section, Palais des Nations, CH-1211 Geneva 10, Switzerland, fax: +41 22 917 0027, e-mail: unpubli@un.org。北米、中南米、東アジア：United Nations Publications, Two UN Plaza, DC2-853, New York, NY 10017, USA, tel: +1 212 963 8302 or +1 800 253 9646, fax: +1 212 963 3489, e-mail: publications@un.org, Web: <http://www.un.org/publications>。

2006年の直接投資と国際生産の拡大は、世界の多くの地域での好景気を反映するとともに、企業の増収益に伴う世界的な株価の上昇が、国境を越えた企業の買収・合併(以下「クロスボーダーM&A」)の取引額を押し上げた事も一因にある。クロスボーダーM&A取引額は、海外直接投資の中で引き続き高い比率を占めたが、新たな海外子会社設立に伴うグリーンフィールド投資が、特に途上国と移行経済国で増加した。

先進国では対内直接投資が前年比45%増の8,570億ドルだったのに対し、途上国と移行経済国では、それぞれ、過去最高の3,790億ドル(前年比21%増)と690億ドル(68%増)を記録(図1)。米国は世界最大の投資受入国に返り咲き、英国、フランスが、その後に続いた(図2)。

途上国と移行経済国においては、2006年、ほぼ全ての地域 - ただし、オセアニア、南米とアフリカ南部では投資額が減少した - で、直接投資が堅調な伸びを見せた。途上国圏内の最大受入国は、中国、香港、シンガポール、移行経済国の中では、ロシアが最大受入国だった(表2)。

同報告書によれば、2006年の10億ドルを超える大規模取引は、クロスボーダーM&A取引総額の3分の2を占め、2000年の最高水準に匹敵する172件を記録。また、M&A取引におけるプライベート・エクイティー・ファンドやその他の共同投資ファンドの占める割合が上昇した。こうした投資ファンドによる2006年のクロスボーダーM&A取引額は、前年比18%増の1,580億ドルと増加した。高収益に伴う投資意欲の向上と金融市場の十分な流動性がこれらの買収を加速した。以前は、利回りが良く、リスクの高い資産や非公開株式企業への投資に専念していたプライベート・エクイティー会社だが、最近では、大企業や上場企業の買収に関わる事が多くなっている。同報告書は、現在のような規模での投資活動ではないにせよ、今後も、プライベート・エクイティー会社が、M&A取引において重要な役割を担って行くと予想する。株式交換が主流だった1990年代後半のM&Aブーム時とは異なり、最近の取引では、現金と負債による資金調達が圧倒的に多い。

先進国に本拠を置く多国籍企業は、依然として海外直接投資の主要源であり、2006年対外直接投資総額の84%を占めた。米国からの投資は回復したものの、世界の対外直接投資全体の大半を占めたのはEU諸国からの投資である(図3)。途上国と移行経済国に本拠を置く多国籍企業については、香港とロシアを拠点とする企業を中心に、海外での事業展開を続け、2006年の途上国と移行経済国からの投資は、対外直接投資総額の16%にあたる1,930億ドルに達した。(主要多国籍企業についての詳細は、UNCTAD/PRESS/PR/2007/037参照。)

多くの政府が、引き続き直接投資を促す政策をとる一方で、一部の業種 - 特に戦略的主要産業 - では、新たに外国人所有株の規制が導入されたり、より多くの政府財源確保を目的

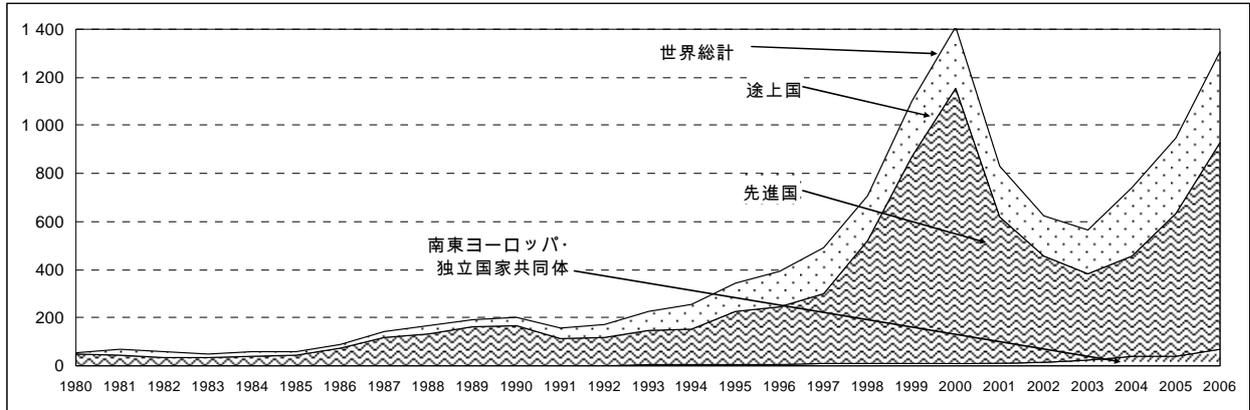
とした措置が適用されたりした。こうした動きは、採掘産業で最も顕著だった(採掘産業への直接投資の詳細は、UNCTAD/PRESS/PR/2007/030参照)。2006年の受入国での直接投資に関する政策変更は、147件が対内投資に有利なものであったが、不利な政策への転換も37件あった。

2007年以降の海外直接投資額は、2006年よりも幾らか下回る水準で成長を続けると見込まれる。これは、2007年前半のクロスボーダーM&A取引額が前年の同時期より58%上回る5,810億ドルに達したこと、先にUNCTADから出版された *World Investment Prospects Survey* (2007年10月4日発行のUNCTAD/PRESS/PR/2007/039参照)を含む、多国籍企業を対象とした複数アンケート調査の結果に基づいている。しかしながら、同報告書は、現在の金融市場の先行き不透明感と、投資受入国の一部の業種における対内投資に不利な政策転換が、今後の海外直接投資傾向を左右する可能性もあると指摘している。

*** ** ***

『世界投資報告書』および報告書内の統計はそれぞれ www.unctad.org/wir、
www.unctad.org/fdistatistics でご覧いただけます。

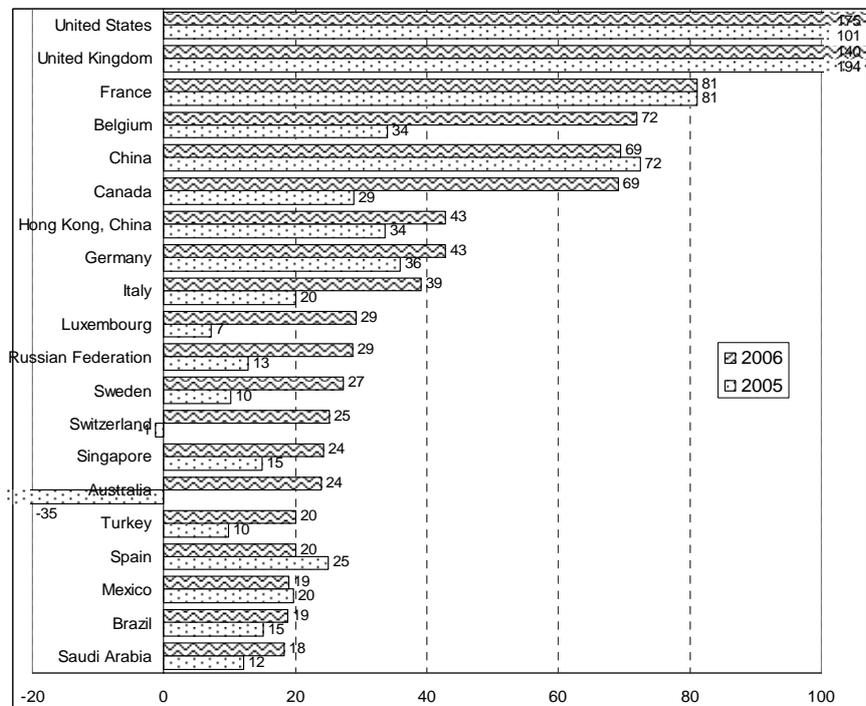
図 1. 1980 - 2006 年 世界合計及び地域別対内直接投資流入額
(単位: 10 億ドル)



	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
世界総計	55	69	59	51	59	58	89	141	165	193	202	155	170	224	254	343	393	489	709	1099	1411	833	622	564	742	946	1306
先進国	48	45	33	33	41	44	73	119	135	162	166	115	115	143	148	222	239	287	509	860	1146	609	442	361	419	590	857
途上国	8	24	26	18	18	14	16	21	30	31	36	40	53	78	104	116	147	191	190	228	256	212	166	179	283	314	379
南東ヨーロッパ・ ツバ・独立 共同体	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.0	0.0	-0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	2	3	2	5	6	12	11	10	9	12	13	24	40	41	69

出典: UNCTAD 『2007 年世界投資報告書』

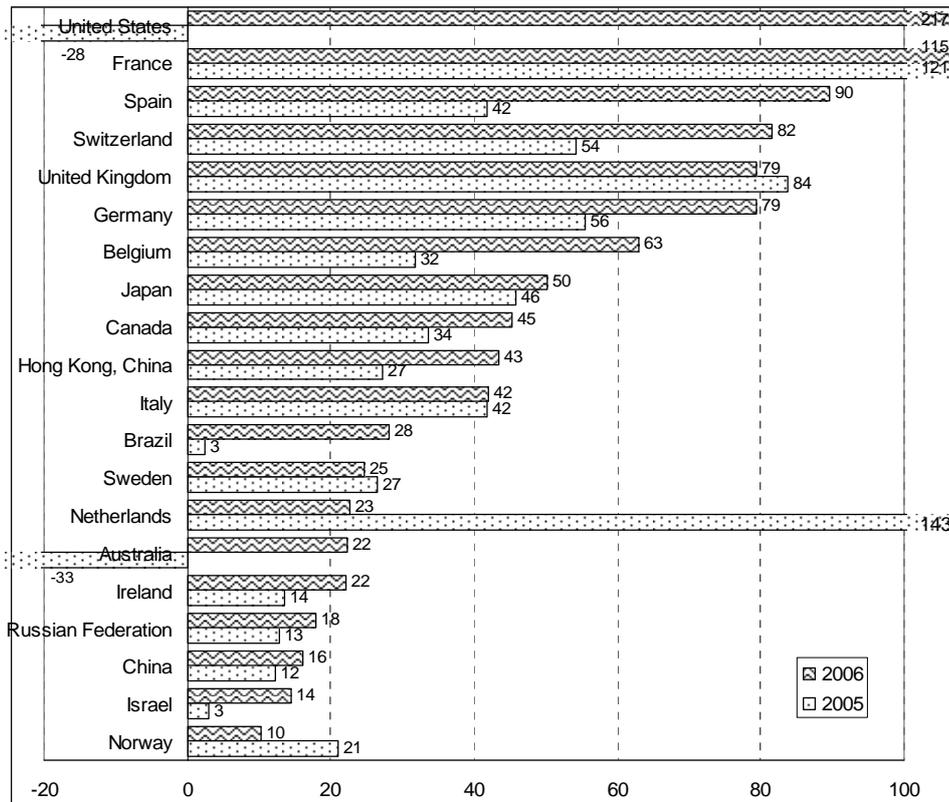
図 2. 2005 - 2006 年 世界の対内直接投資上位 20 力国・地域^a
(単位: 10 億ドル)



出典: UNCTAD 『2007 年世界投資報告書』

^a 2006 年対内直接投資額による順位

図 3. 2005 - 2006 年 世界の対外直接投資上位 20 力国^a
(単位: 10 億ドル)



出典: UNCTAD 『2007 年世界投資報告書』

^a 2006 年対外直接投資額による順位

表 1. 1990 年、2005 - 2006 年 海外直接投資と国際生産指標
(単位: 10 億ドル)

項目	1990 年	2005 年	2006 年
対内直接投資額	202	946	1 306
対外直接投資額	230	837	1 216
対内直接投資残高	1 779	10 048	11 999
対外直接投資残高	1 815	10 579	12 474
対内直接投資所得	76	759	881
対外直接投資所得	120	845	972
クロスボーダー M & A	151	716	880
海外子会社売上高	6 126	21 394	25 177
海外子会社付加価値額	1 501	4 184	4 862
海外子会社総資産	6 036	42 637	51 187
海外子会社輸出額	1 523	4 197	4 707
海外子会社雇用(単位: 千人)	25 103	63 770	72 627

参考

世界国内総生産 (時価)	22 060	44 486	48 293
--------------	--------	--------	--------

世界総固定資本形成	5 083	9 115	10 307
特許権使用料・ライセンス料受 領額	29	123	132
モノ及び非要素サービスの輸出 額	4 329	12 588	14 120

出典: UNCTAD 『2007 年世界投資報告書』